

当塾に興味をお持ちのみなさまへ

ごあいさつ

このたびは、伊東塾に興味をお持ちいただき、ありがとうございます。

さて、2年目の実施となった「大学入学共通テスト」は、多くの受験生を揺るがす結果となりました。

従来の「センター試験」より“難化”することは、大学入試改革、共通テストの導入前から言われてきたこととはいえ、今年のような共通テストの内容に対応する学力を身につけることは、多くの受験生にとって容易なことではありません。

また、今春から高校生になる“新高1生”から、高校の学習内容が大きく変わります。教科や分野を横断した教科の登場や、アクティブラーニングを実践する教科の登場、そして、3年後の入試教科に加わる予定の「情報」や「公共」など、今までと全くちがった新しい価値観でつくられた学習内容が展開されます。

“教育改革”が標榜してきた「思考力」「判断力」「表現力」に基づいた「生きる力」や「解なき問いに挑む力」が、大いに試される時代となりました。

当塾では、いまの、そしてこれから先の未来に向けて、

おこさまたちが、自分を取り巻く変化の大波を乗り越えることができるよう、数年前からさまざまな取り組みを着々と実行して参りました。

まだまだ先のことと世間に思われてきたことも、

「いつ何があっても対応できるように、できるときに、できることからやっていく。」

を、常に言い続け、こどもたちの未来のために当塾が為すべきことを実践してきました。

この混沌とした時代の中において、その取り組みが、花を咲かせていることを強く実感しております。

こどもたちを取り巻く学習環境、とりわけ、入試の環境は混乱を極めておりますが、そのような環境下でも、当塾で学び、巣立つこどもたちは、大きな成果を上げております。

もちろん、こうした成果は、ひとえに、こどもたちの“努力”によるものです。

当塾は、こどもたちが、自分自身の力で走り出すことをほんの少し後押しするだけの役割しか担っておりません。

ただ、その役割と、こどもたちの努力がしっかり噛み合い、大きな成果に結びついているのだと強く感じております。

こどもたちの学びは、おそらくは、保護者の皆さまが想像されるよりもはるかに大きな変化に直面しています。

だからこそ、そのときに何があっても対応できるように、

できるときに、できるときから、できることを準備しておかねばなりません。

保護者の皆さまには、いまこそ、おこさまの置かれた教育環境をしっかりと見据え、

変化の波にのまれぬよう、少しでも早く、こどもたちが走り出すことを後押ししてください。

おこさまが、将来の目標に着実に近づき、目標を手に入れるために、

当塾と共に歩んで頂けることを願っております。

伊東塾

代表 伊東俊幸